



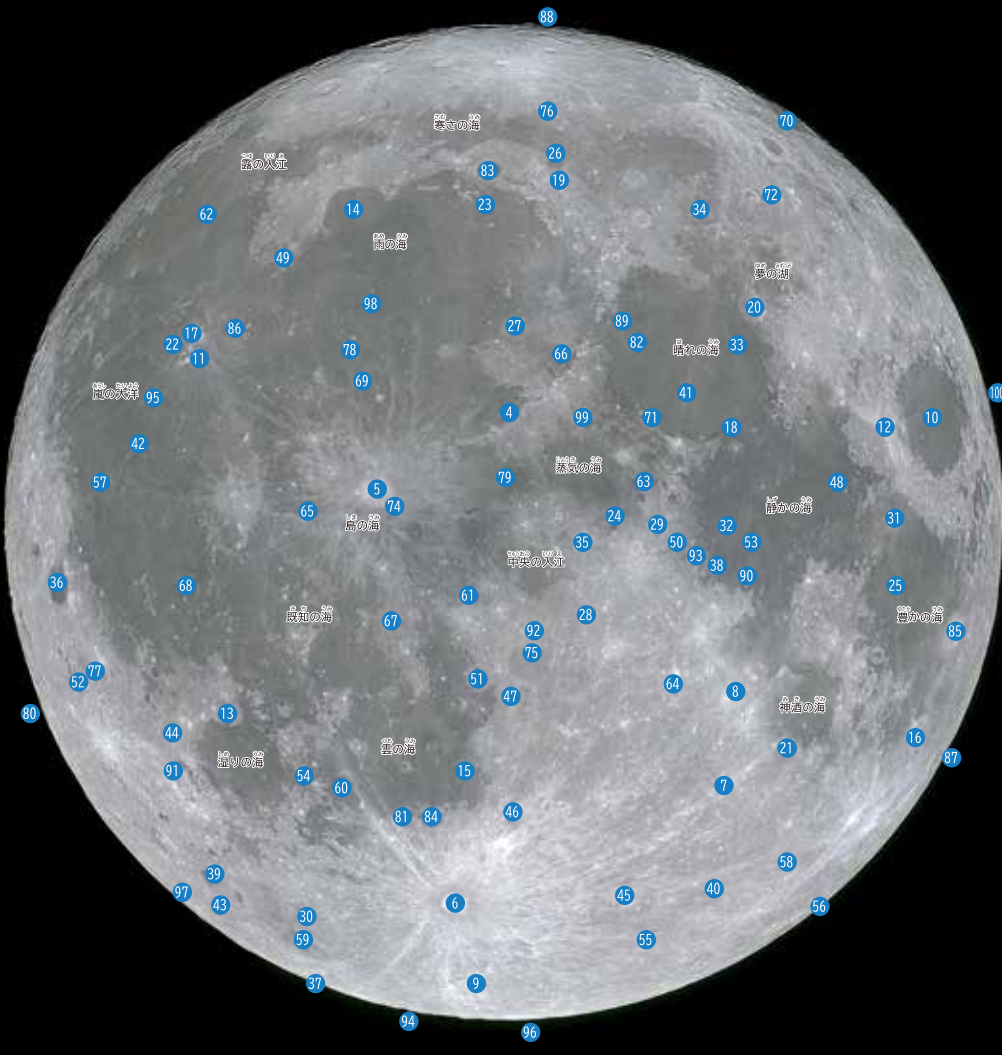
写真で見る

月面100景

渡辺真一・天体写真展

明石市立天文科学館
AKASHI MUNICIPAL PLANETARIUM

月面100景(月の名所100選)



- ① 月(空に浮かぶ月)
- ② 地球照(細い月の欠けた場所が地球に照らされ、うすらと見える現象)
- ③ 海と高地(陸)(月の模様)
- ④ アペニン山脈
- ⑤ コペルニクス
- ⑥ ティコ
- ⑦ アルタイ崖
- ⑧ テオフィルス、キリス、カタリナ
- ⑨ クラヴィウス
- ⑩ 危機の海
- ⑪ アリスタルコス
- ⑫ プロクルス
- ⑬ ガッサンディ
- ⑭ 虹の入江
- ⑮ 直線の壁
- ⑯ ベタヴィウス
- ⑰ シュレーター谷
- ⑱ 晴れの海の暗い縁
- ⑲ アルプス谷
- ⑳ ボシドニウス
- ㉑ フラカストリウス
- ㉒ アリスタルコス台地
- ㉓ ビコ山
- ㉔ ヒギヌス谷
- ㉕ メシエ、メシエA
- ㉖ 寒さの海
- ㉗ アルキメデス
- ㉘ ヒツパルコス
- ㉙ アリアデウス谷
- ㉚ シラー
- ㉛ タルンチウス
- ㉜ アラゴα、β
- ㉝ スミルノフ尾根
- ㉞ 死の湖
- ㉟ トリスネッカー谷
- ㊱ グリマルディ(盆地)
- ㊲ バイ
- ㊳ サビンとリッター
- ㊴ シツカード
- ㊵ ジャンサン谷
- ㊶ ベッセルの光条
- ㊷ マリウス丘
- ㊸ ワルゲンチン
- ㊹ メルセニウス
- ㊺ マウロリクス
- ㊻ レギオモンタヌスの中央丘
- ㊼ アルフォンスの暗斑
- ㊽ コーシー
- ㊾ グルイティゼン、δ
- ㊿ ケーリーの平原
- 1 デビィのクレーター列
- 2 クリュエーガー
- 3 ラモント
- 4 ヒツパルス溝
- 5 ベーコン
- 6 雨の海(盆地)
- 7 ライナー
- 8 レイタ谷
- 9 シラー、ズツキウス(盆地)
- 10 キース(火山ドーム)
- 11 メスティンA
- 12 リュンカー(火山ドーム)
- 13 インプリウムベイスンの放出物
- 14 デカルト
- 15 ホルテンシウスのドーム
- 16 ハドレー谷
- 17 フラマウロ
- 18 フラムステードP
- 19 コペルニクスの二次クレーター
- 20 ファンポルト海(盆地)
- 21 スルピキウス・ガルスの暗いマントル
- 22 アトラス
- 23 スミス海
- 24 コペルニクスH
- 25 プトレマイオスB
- 26 W. ボンド
- 27 シルサリス谷
- 28 ランバートR
- 29 熱の入江
- 30 東の海(盆地)
- 31 ヘシオドスA
- 32 リンネ
- 33 プラトーの小クレーター
- 34 ビタス
- 35 ラングレヌスの光条
- 36 プリンツ谷
- 37 ファンポルト
- 38 ビアリー
- 39 バレンタインドーム
- 40 アームストロング、オールドリン、コリンズ
- 41 デ・ガス・パリス溝
- 42 ギルデン谷
- 43 ディオニュシウスの光条
- 44 ドリガルスキー
- 45 プロセラルム盆地
- 46 ライブニッツ山
- 47 インギラミ谷
- 48 雨の海の溶岩流
- 49 アイナ
- 50 緑の海の渦模様

月の名所100選(Lunar 100)は、チャールズ・A・ウッド氏が作成した月面観察のリストです。ウッド氏は、初心者からマニアまでが楽しめるように、クレーターや山脈など月面の見どころを、観察しやすい順に100を選び、天文雑誌スカイ&テレスコープ誌2004年4月号で紹介しました。はじめの3つは、①(月そのもの)、②(地球照)、③(月の模様)というように、肉眼で観察できます。④以降は小型の望遠鏡でも観察しやすいクレーターなどが続き、数字が進むにつれ難易度が高くなっていきます。月の観察にお役立てください。
参考) <http://www.skyandtelescope.com/observing/the-lunar-100/>

特別展 写真で見る 月面100景 渡辺真一・天体写真展

2021年
10月9日(土) ~ 12月5日(日)
会場 明石市立天文科学館・3F 特別展示室

月は、ある時は日ごとに丸くなっていくかと思うと、満月を過ぎてどんどんと細くなっていきます。日ごとに姿が移り変わる月を眺めるのも、夜空の楽しみの一つですが、月の表面には、地球と同じように様々な地形が見られます。驚くほど鮮明に撮影された渡辺真一さんの月の写真で、月の見どころ、名所をご案内します。

特別展関連イベント
講演会「望遠鏡を通して見る月の素顔」【講師】渡辺 真一
【日時】10月31日(日) 13:00~14:30
【参加方法】天文科学館YouTubeチャンネルよりどなたでもご覧いただけます。

渡辺 真一 プロフィール

1955年9月新潟市生まれ。
小学校4年生で星に興味を持ち、以来天体観測・写真撮影にのめり込む。2013年から、CMOSカメラによる月・惑星写真の撮影を始め、現在は自宅の観測室から主に35cmの望遠鏡による天体の拡大写真撮影を中心として活動している。新潟天文研究会所属。



〔開館時間〕 9時30分~17時
(最終入館は16時30分)
〔休館日〕 月曜日・第2火曜日
(祝日・休日と重なる日は開館し、翌日が休館)、
年末(12月27日~31日)年始の営業については当館ホームページ等をご覧ください。
〔観覧料〕 大人700円
(高校生以下無料)
〔駐車場〕 2時間まで200円
(以降1時間ごとに100円)

● 丸丸前駅(山陽電車)から北へ徒歩3分
● 明石駅(山陽電車・JR)から東へ徒歩15分
〒673-0877 明石市丸町2-6
TEL: 078-919-5000 FAX: 078-919-6000
<https://www.am12.jp/>

※状況によって急な変更が生じる場合があります。当館ホームページをご確認いただくか、電話でお問い合わせください。

